

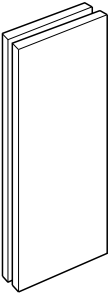
施工説明書 施工業者様用

OMEGA
収納折戸
《扉施工用》

このたびは、阿部興業の製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

！ 施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 室内専用です。屋外や浴室に使用しないでください。使用しますと腐れ、割れ、ねじれ、反り等の不具合が発生します。
- ビス穴加工以外の扉・部材等にビスを取付ける時は、リード穴をあけてビスを取付けてください。割れ等の原因となりビスの効きが減少し、不具合の原因となります。
- 照明灯等の熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1m以上離して作業してください。
- 施工完了まで、水平になるように保管してください。水平でないと反り等の原因となります。

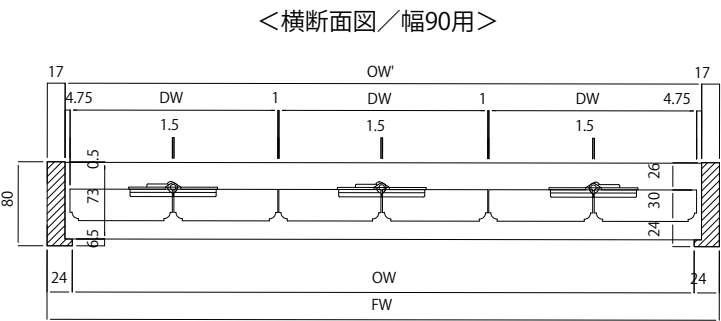
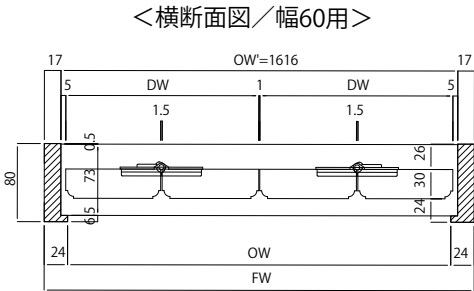
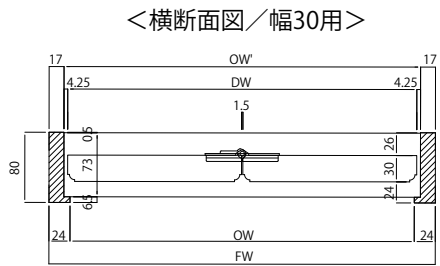
扉梱包			
	幅30用	幅60用	幅90用
	1	2	3
扉本体			
つまみ	1	2	3
クッション	—	2	4

枠	タイプ	スタンダード	
		FW (mm)	FH (mm)
四方枠	幅30	755	2047/2340
	幅60	1650	
	幅90	2453	

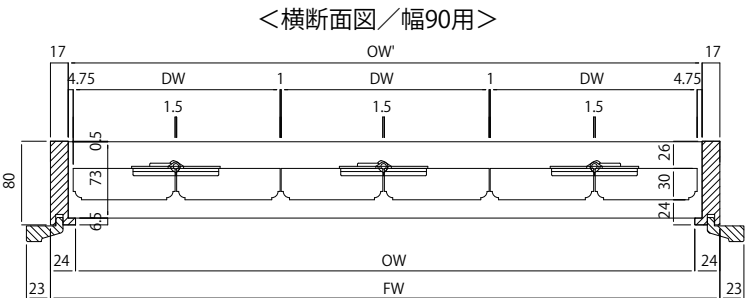
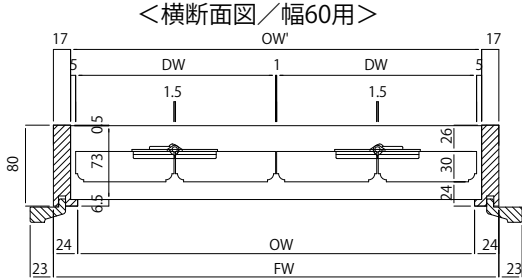
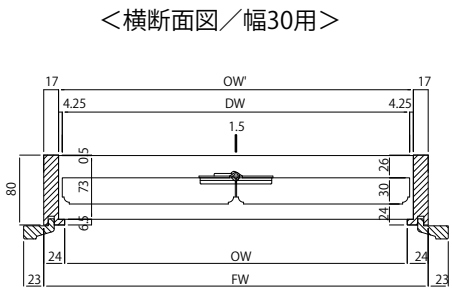
部品梱包			
	幅30用	幅60用	幅90用
上ランナー	2	4	6
上キャッチ	1	2	2
下ピボット	2	4	6
下ピボット受け	1	2	2
打込パイプ	1	1	1

納まり図

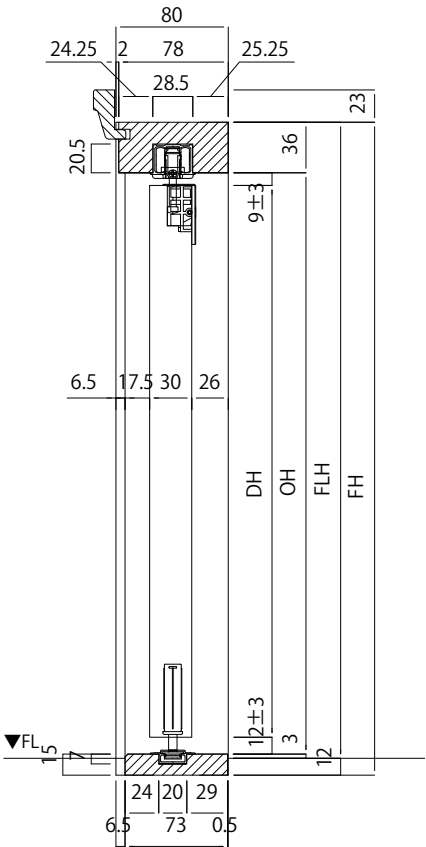
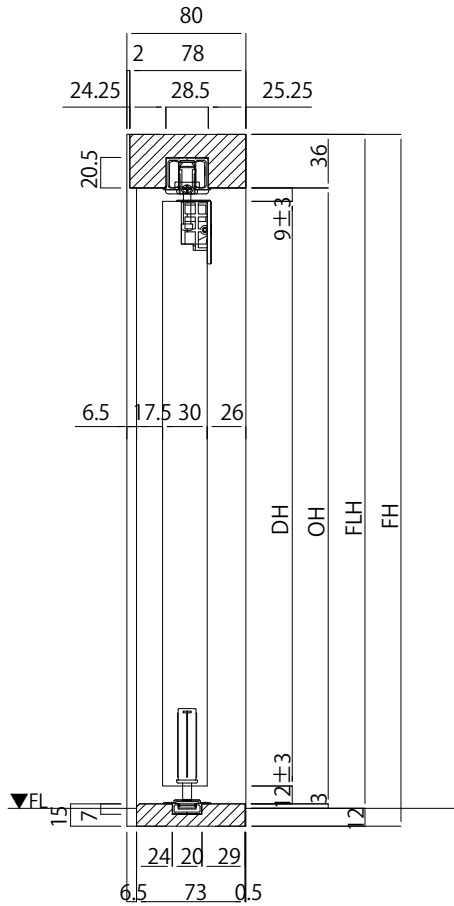
固定枠



ケーシング枠



＜縦断面図＞

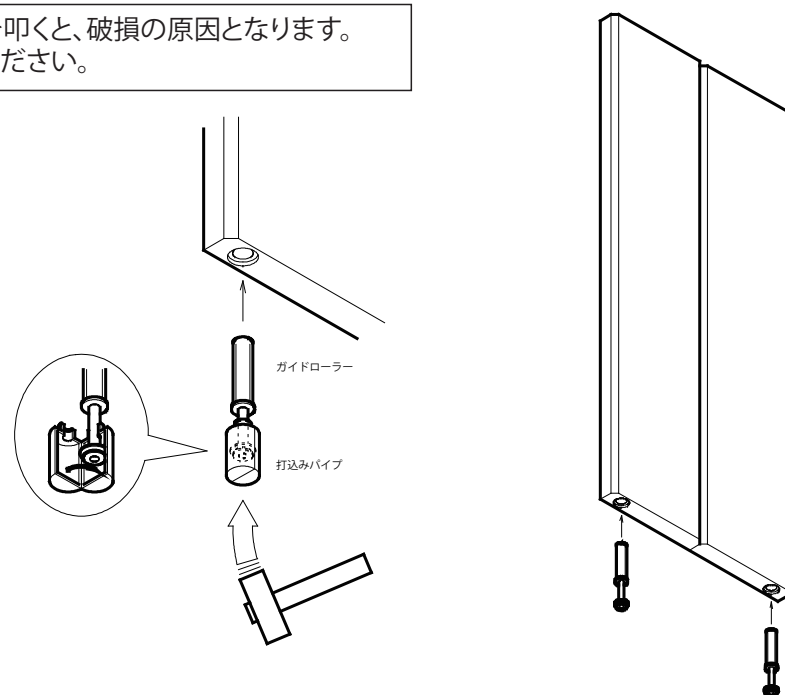


1. 扉の取付け

<ガイドローラーの取付け>

- ①打込みパイプを使って、ガイドローラーを扉の下部に打ち込んでください。

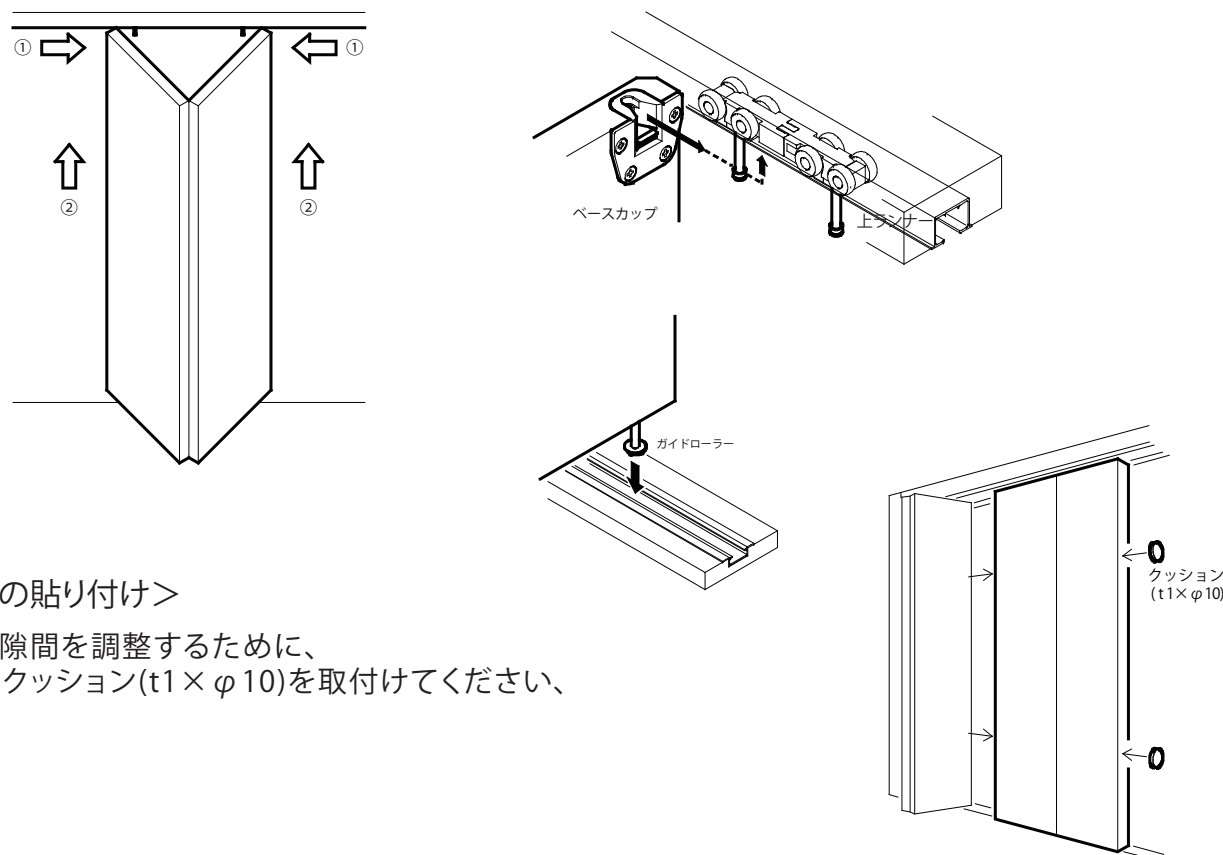
注意 金づち等で直接ガイドローラーを叩くと、破損の原因となります。
必ずパイプを当てて打ち込んでください。



<扉の吊込み>

- ①扉下部のガイドローラーを下レールに入れてください。
②扉を折りたたんで、扉裏面のベースカップの溝に、上ランナーの軸をはさみ込んでください。
③さはみ込んだ状態から扉を持ち上げると、軸がベースカップに差込まれ、接合できます。

注意 上ランナーの軸は、ベースカップに「カチャッ」と音がするまで完全に差込んでください。
誤った取付け方をしますと、扉が外れて、人身事故や家財の破損を引き起こす原因となります。



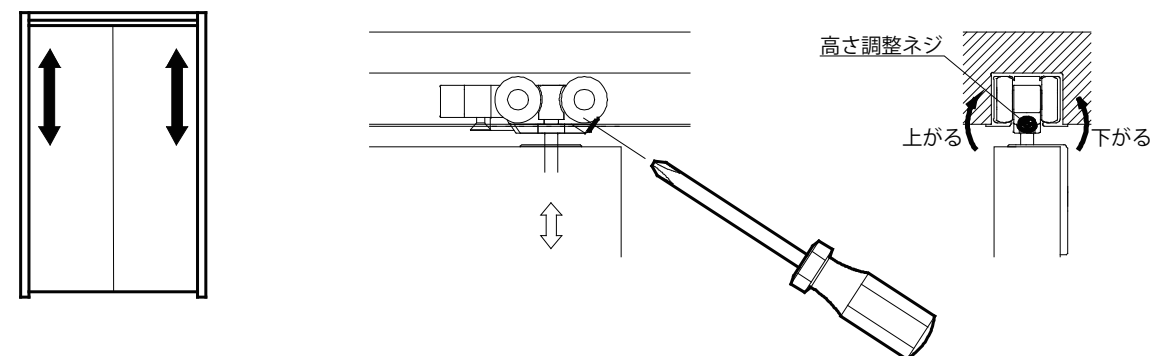
<クッションの貼り付け>

- ①扉と扉の隙間を調整するために、
扉小口にクッション(t1×φ10)を取付けてください、

2. 扉の調整

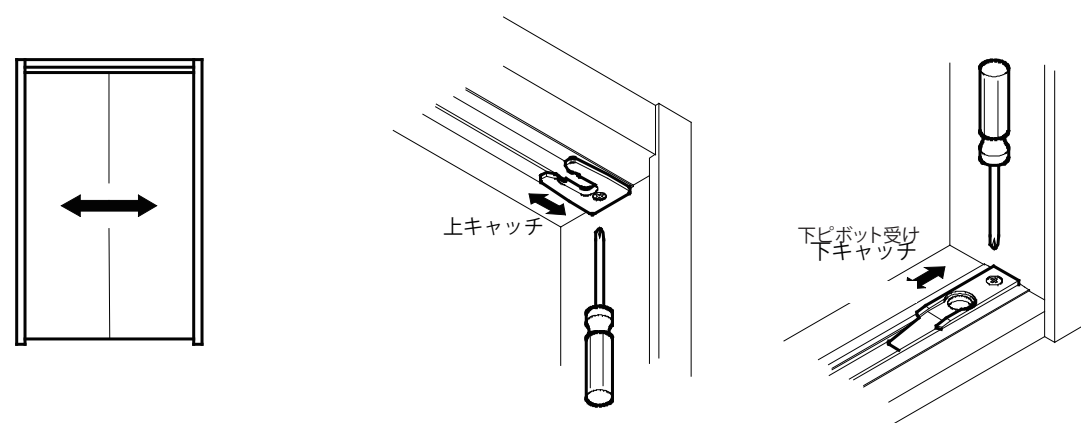
<上下調整>

- ①上ランナーの高さ調整ねじを、ドライバーで回して調整してください。



<左右クリアランス調整>

- ①上キャッチ・下ピボット受けのビスをゆるめ、左右にずらして調整してください。



※上・下キャッチは扉の吊元側の軸を固定する部品です。
軸固定をキャッチから外す場合は、扉を強めに横移動させます。

施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
- ◆ネジの緩みや枠のガタツキがないか確認してください。
- ◆ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

※枠・扉各々の取付けが完了しましたら、当て傷・擦り傷等がつかないようにお手持ちの養生材等で枠・扉の養生を完全に行ってください。

養生の際には、比較的粘着力の弱い紙製のマスキングテープ等で止めてください。

△ ご注意 △ ポリエチレン繊維等の養生テープは、粘着力が強いため使用しないでください。

※ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、回収業者に引取っていただくようご協力をお願いいたします。

※縦枠上部の小口に無塗装部分が見える場合は、補修セットでタッチアップして処理してください。

<お手入れ方法>

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れを落とし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナー等の溶剤や強い洗剤を使用しないでください。使用しますと変色・変質しますので絶対に使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテ等が付着した場合は、速やかに拭取ってください。